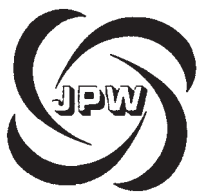


2009年度

# 運動方針を補強する

# 紙パ連合

発行所  
日本紙パルプ紙加工  
産業労働組合連合会  
〒107-8333 東京都港区北青山  
2丁目12番4号  
TEL 03-3402-7656  
FAX 03-3402-7659  
URL <http://www.jpwr.or.jp/>  
発行人 鈴木辰男  
購読料は組合費を含む  
定価2頁10円、4頁20円



## 第9回執行委員会ひらく

紙パ連合は五月十八日、二〇〇九春季生活闘争の点検・総括と、第三十二回定期大会議案(二〇一〇年度運動方針の補強)を中心議題に、「第九回中央執行委員会」をひらきました。

### 春季生活闘争の回答状況

二〇〇九春季生活闘争の点検・総括については

連合の回答・妥結状況の報告、春季生活闘争の情勢について意見交換する

その時点での賃上げの状況は、七十二組合(全体の七十%)が回答を引き出し、全体の加重平均

### 賃上げについて

また、回答を得られていない組合については、積極的な交渉で一日も早い決着が求められます。

### 一時金について

一時金の状況は、年間集約五十六組合のうち五十組合が回答を引き出し、加重平均は百二十七万三千七百(四・二九ヵ月)で前年を八万五千五百八十二円下回りました。



2009年度運動方針の補強について論議しました

## 加盟組合の紹介

### 日本製紙労働組合

【製品の紹介】  
洋紙・新聞・情報産  
業用紙と、あらゆる紙  
を取り扱う総合メーカー  
【製品の紹介】  
1です。また、建材部門  
では、日本製紙木材(株)や  
おいては日本紙パック(株)



後列左から永松書記長、荒木副委員長、宮崎委員長、今野中執、前列左から宮川書記、清水書記、高橋中執

組合の設立 平成15年10月1日  
※大昭和製紙労組との合併  
組合員数 5,124名  
(平成21年5月1日現在、準組合員含む)  
組合の構成 本部:5名、および11支部

## 二〇〇九年度運動方針の補強

今回の中央執行委員会では、七月十六日(十七日)に開催する第三十二回定期大会にむけ、二〇一〇年度運動方針の補強を中心とした議案について審議を行いました。

【賃金要求】  
賃金の社会性を追及し  
【労基法の一部改正】  
労働基準法の一部を改  
【安全衛生活動】  
二〇〇八年の労働災害  
【職場復帰サポート制度】  
二〇〇九年八月から、

【運動方針の基調】  
日本経済は、輸出・生産の減少、企業業績の悪化などにより、景気は急速に減退し、雇用環境も厳しさを増している。紙パ産業においても、景気

るのが特徴です。

### 【地域の紹介】

本社所在地は、今年の五月より千代田区有楽町から一ツ橋(竹橋)へ移

### 【組織の課題や今後の抱負】

日本経済が未曾有の危機的状況が昨今より続いており、紙パ業界にも大規模な減産等、激震が走っている今日、組合員・従業員が会社を取り巻く厳しい環境を十分認識し、この危機的状況を乗り越えていくために「今、何をすべきか」を考え、全支部一体化の活動をさらに強化したと

【産業政策活動】  
緊張感ある健全な労使関係を基礎におき、産業・企業の健全な発展を追求し、雇用の維持・生活の向上をはかるためにもあらゆる場を通じて、働く者の立場から政策提言活動を積極的に展開していく。

【組織拡大のとりくみ】  
加盟組織人員は、ここ数年減少の一途をたどっており、運動の強化に向けて組織拡大は不可欠である。新規加盟の促進、転籍先での組合づくり、関連会社での組織化、六十歳以降の再雇用者の組合員化、パート労働者の組織化等を行う。

【二〇〇八年度予算案】  
会費納入人員は、ここ数年の人員減少と、現在の納入実績を踏まえ、二万七千人とした。また、連合会費の値上げが十月から実施されることもあり、現状の財政状況と組織人員の減少傾向を認識し、組織財政改革のさらなる実践をはかる。

【職場復帰サポート制度】  
二〇〇九年八月から、七十六名の加入者で制度

# 日本はアジアのリーダーであることを再確認

## — JCEM地域委員会に参加して —

### 他国の労働条件を痛感

ICEM(国際化学工業労働者連合)のアジア太平洋地域委員会が四月十七日にシンガポールで開催され、紙パ連合の派遣委員として出席してきました。この委員会の議長であるUIセソン同盟の落合議長をはじめ、電力総連、JEC、化学総連ゴム連合、全国ガスなどの産別代表やICEM・JAFの事務局を含め総勢十三名が日本より参加しました。

#### 厳しい世界の労働事情

開催国のシンガポールからは、人材開発省(日本の厚生労働省の労働分野を担当する省)の局長から「社会的対話と挑戦課題」と題した情勢報告を受けました。国際的な貿易で発展してきたシンガポール経済は、昨年からの急激で大幅な貿易量の減退で建国以来最大の落ち込みとなり、リストラで職を失う労働者が大幅に増加しているそうです。その対策として職業訓練に対する負担を国が六割補償する法律を昨年十一月に施行し、政労使の対話を重視した対応を



委員会風景 (中央手前・原田委員長)

活動をする組合役員は、すぐに首を切られるという状況にあるそうです。ICEMも支援をしていますが、経営側の反応は冷たいそうです。日本であれば労働法で守られているようなことも日常的に違反されているのが実情だということです。日本の労働者がいかに恵まれているのか、他の国の方々の報告を聞いて痛感しました。



参加者による集合写真

また、この委員会では、日本企業に子会社化される企業ではありませんが、オーストラリアの紙パルプ会社の労働組合がICEMに新規加盟しました。これも今後の国際的なM&Aを考えた対応策の一つなのだと思います。

#### 国際感覚・視野を知る

今後、紙パルプ産業も国際的な企業合併や経営統合の可能性は充分考えられます。そうした状況の時に、このような国際感覚を持つというのは非常に重要なことであり、今委員会に出席して、紙パ連合がICEMに加盟している必要性が少しは

### 労使で現状の課題を確認

#### 九州地本労使・議員懇談会

【九州地本発】五月十五日、宮崎市「ホテ」ルプラザ宮崎にて、議員懇談会を開催しました。九州の各地事業所より労使総勢三十名、紙パ連合本部からは鈴木委員長に参加頂きました。



九州各地から参加して頂きました

最初に各市議会議員より市報報告がされ、次期八代市議会議員候補の野崎氏から選挙必勝に向けた意気込みとお願いがされました。議題に入り「企業イメージについて」と題して内容が紹介され意見交換を行い、次に

## トークラリー 「花の窟神社」

紀州製紙労組 下田 構平



日本一長いともいわれている約百七十メートルの大綱を岩窟上四十五メートル程の高さの御神体から境内南隅の御神木にわたしています。

花の窟(いわや)は、神々の母である伊弉册尊(イザナミノミコト)が火神・軻遇突智尊(カグツチノミコト)を産み、灼かれて亡くなった後に葬られた御陵です。花窟神社(花の窟神社)は日本書紀にも記されている日本最古の神社といわれ、古来からの聖地として信仰はあつく、多く

「組織内議員について」では、組合として組織内議員を擁立する意義について、鈴木委員長よりアドバイスがされました。今回の労使懇談会・議員懇談会は、出された意見、各社の活動状況が確認でき、総合してテーマ選定は大変良かったと思います。議員懇談会についても野崎議員候補への応援を沢山の方より頂くことが出来た上に、各労組の本音も聞けて有意義な会議となりました。(那須委員長・王子新・八代)